

様式第11号（第16条関係）

廃棄物処理施設等変更設備等対照表

変更の内容		変更前	変更後
廃棄物処理施設等の種類 （メーカー名、型式）		中間処理（発酵堆肥化处理） CS30-2（スクープ式攪拌搬送機） ジャパクリエイト(株) 中間処理（浄化处理） システム設計：エレボン(株)	中間処理（発酵堆肥化处理） ロータリー式攪拌装置 SR2000-6型：(株)岡田製作所 中間処理（浄化处理） システム設計：エレボン(株)
設置の場所（所在地）		一関市藤沢町黄海字山谷122番	変更なし
廃棄物処理施設等の処理能力		1次発酵舎+2次発酵舎(直線式) 48.6t/日 2.025t/h 1次発酵舎+2次発酵舎+3次発酵舎 18.0t/日 0.75t/h	変更なし
処理する廃棄物の種類		動物のふん尿 汚泥 動植物性残渣	変更なし
構造等に関する計画	構造及び設備	開放型攪拌発酵方式 通気型堆肥化方式	変更なし
	処理方式	開放型レーンに於いて、攪拌機により堆肥を攪拌し、発酵を促進させる。 通気型に於いては、ローダーによる切り返しを行うとともに、ブローア送風により発酵を促進させる。	変更なし
	排ガス及び排水の処理方	排水：接触酸化活性汚泥方式	変更なし
	排ガスの性状及び放流水の水質	排ガスの性状 別紙1 放流水の水質 BOD 47mg/L COD 57mg/L、窒素100mg/L 大腸菌3,000個/cm3	変更なし
	排ガス及び排水の量	排ガスの量 29,400Nm ³ /日 排水の量 45.4m ³ /日	変更なし
	その他廃棄物処理施設等の	1次発酵舎 2次発酵舎 3次発酵舎	変更なし
廃棄物処理施設等の附帯設備		保管施設の概要	変更なし
維持管理に関する計画	排ガスの性状、放流水の水質等について周辺地域の生活環境の保全のため達成することとした数値	排ガスの性状 別紙1 放流水の水質 BOD 47mg/L, COD 57mg/L 窒素100mg/L, 大腸菌3,000個/cm3	変更なし
	排ガスの性状及び放流水の水質の測定頻度に関する事項	排ガスの性状：発色法により年1回 放流水の水質：上記項目4回/年	変更なし
	その他廃棄物処理施設等の維持管理に関する事項	普通混合保管施設 有機混合保管施設 保管面積 70m ² 保管面積 70m ² 保管体積105.86m ³ 保管体積105.86m ³ 保管重量 84.69t 保管重量 84.69t 動植物性残渣保管施設 保管面積 50.05m ² 保管体積 65.26m ³ 保管重量 52.2t	変更なし

備考 「廃棄物処理施設等の附帯設備」欄は、設備名、方式、能力及び数量を記載してください。

産業廃棄物処理業の事業範囲変更許可申請書

平成 年 月 日

岩手県知事 達曾 拓也 様

申請者

〒029-3311

住 所 岩手県一関市藤沢町黄海字山谷 122 番地

氏 名 株式会社 若 葉

代表取締役 橋本 友厚 印

（法人にあつては、名称および代表者の氏名）

電話番号 0191-63-5377

FAX 番号 0191-48-4528

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条の2第1項の規定により、産業廃棄物処分業の事業範囲の変更の許可を受けたいので、関係書類及び図面を添えて申請します。

許可の年月日及び許可番号	平成 28 年 11 月 22 日 第 00324131573 号
収集運搬業・処分業の区分	処分業
許可に係る事業の範囲(収集運搬業にあつては、取り扱う産業廃棄物の種類(当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物が含まれる場合は、その旨を含む。)及び積替え又は保管を行うかどうか、処分業にあつては、処分の方法ごとに区分して取り扱う産業廃棄物の種類(当該産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物が含まれる場合は、その旨を含む。)を記載すること。)	中間処理(浄化処理) 動物のふん尿 中間処理(堆肥化処理) 動植物性残さ、動物のふん尿
変更の内容	汚泥
変更理由	養豚事業者より汚泥の処理を求められ、処理する必要が出て来た。
変更に係る事業の用に供する施設の種類、数量、設置場所、設置年月日、処理能力(当該施設が最終処分場である場合には、埋立地の面積及び埋立容量)、許可年月日及び許可番号(産業廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合に限る。)	【処理施設の概要】 別紙1のとおり 【保管場所】 別紙2のとおり
変更に係る事業の用に供する施設の処理方式、構造及び設備の概要	別紙1のとおり
※事務処理欄	